

## LINE の陷阱

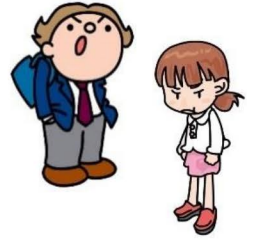
～欸！我们家的孩子欺负人了?!～

以前，在本刊第 68 期中曾以“什么是 LINE”为题介绍了 LINE 是什么以及 LINE 是怎么使用的。另外，在第 69 期的“孩童在利用 LINE 时需要留意的地方”一文中也指出在利用 LINE 进行交流时需

## LINE の落とし穴

～えっ！うちの子がいじめを?!～

以前、本誌第 68 号で「LINE って何？」と題して LINE とは何か、どのように利用されているのかを紹介しました。また、第 69 号の「LINE～子どもが利用する時の注意点～」では、LINE を用いてコミュニケーションをとる上で、気をつけなければいけないこと



要留意の問題——特別是在朋友圈中会碰到像被说坏话、被朋友孤立这样的受到欺负的可能性很高。

在本期中,我们将列举一些在用 LINE 组成的好朋友圈、友人圈中,因未加慎重思考而采取的轻率行动使自己变成加害者的事例。

A 这个 LINE 朋友圈是由同属一个课外活动的 8 名成员组成的好友圈。大家都喜欢开玩笑,经常会长传一些刻薄的话或是插科打诨。小 B 是朋友圈的成员之一,他从小就对鼻子下面的黑痣很介意。有一天,组员小 C 不顾小 B 很不情愿的心情,强硬地把拍了小 B 那颗黑痣的特写照片发到 LINE 上。其他的小组成员也立刻发了一些开玩笑的话。

那天参加课外活动的小 B 看到大家上传的东西后就早退了。从那以后,他不仅没再参加课外活动,也不到学校来上课了。

之后,除小 B 以外,参加 A 这个 LINE 朋友圈的其他成员都受到学校的在家反省或是停学的处分。

在周围人看来小 E 和小 F 是非常要好的两个朋友。有一天,小 F 在小 E 没有看到的时候,用小 E 的手机,以小 E 的名义把将小 E 的头像照片与脖子下面是女性身体部分组合的照片加工后的画像传到了由很多人参加的 LINE 朋友圈里。小 E 羞得无地自容悲哀无比。



伴随着防止欺凌对策推进法的实施,从平成 25 年(2013 年)开始,文部科学省对“欺凌”做出如下定义。

所谓“欺凌”就是“与当事者的小学生或是中学生同在一所学校等并与其有一定的人际关系的学生言行举止(通过

特にグループトークの中で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりといったいじめにあう可能性が高いことを指摘しました。

今号では、LINE で繋がる仲良しグループや友人間で、軽い気持ちで行なった行為がいじめの加害者になり得るケースを取り上げます。

LINE グループ A は、同じ部活動に所属する 8 人が集まった仲良しグループでした。冗談が大好きで、常に辛らつな言葉やギャグが飛び交っていました。グループの一員である B 君は、小さいときから鼻の下にある大きなほくろのことをとても気にしていました。ある日、C 君は B 君が嫌がっているにもかかわらず、無理やりほくろを強調した写真を撮り、LINE 上に掲載しました。他のメンバーもすぐに面白おかしいコメントを発信しました。

B 君はそのやり取りを見て、部活動を早退しました。以来、部活動にも参加せず、学校にも登校できなくなってしまうました。

その後グループ A に参加していた B 君以外のメンバー全員に、学校から謹慎または停学処分が言い渡されました。

E 君と F 君は周りからはとても仲の良い 2 人と見られていました。ある日 F 君は E 君が見ていないすきに E 君の携帯で E 君になりすまし、E 君の顔写真と女性の首から下の部分の写真を組み合わせて加工した画像を、大勢の友人が参加する LINE グループに流しました。E 君は恥ずかしさで消え入りたい気持ちになりました。

文部科学省によると、いじめ防止対策推進法の施行に伴い、「いじめ」は平成 25 年度から次のとおり定義されています。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通

インターネット実施の行為也包括在内) 给当事学生带来心理上以及物理上的影响, 令该当学生在身心方面倍感痛苦”的行为。

觉得“受到欺凌”的人, 如果“感受到身心的痛苦”, 即使对方是“我没想欺负人”、“闹着玩儿的”、“只是想开个玩笑而已”, 也被认为是“欺凌”行为。

在 LINE 上交流的特点是其空间的封闭性。交流的内容只有朋友圈中的人可以阅览, 第三者是看不到的。另外, 因害怕可能会被朋友圈排挤、无视, 所以不敢坦然表达自己的意见; 因为 LINE 有明确的“未读”、“已读”的功能, 使人总会有一种被逼迫的感觉, 即一旦读了圈里人发的留言, 就必须马上发表感受和想法等等的倾向。即使觉得朋友圈的气氛变得不太好了, 某个人变成了欺凌的靶子了, 也不敢说出口, 而是“随波逐流”, 或是出现不假思索“即刻发言”的状况。A 朋友圈多半的成员是“随波逐流”, 附和戏弄朋友的言行, 或是为了哗众取宠而口无遮拦。

以 LINE 为首, 有关现今的 SNS (社交网络服务 Social Networking Service), 大多是父母还没有弄懂, 孩子们却掌握得越来越前卫, 如此令人担心的事也越来越多了吧。不过, 即使自己不用, 了解 SNS 的功能和容易陷入的问题, 平常与孩子们就“体谅他人的心情, 为他人着想”或是“每个人的感受性不同”、“信息会有扩散的危险”等问题用心聊一聊吧! 另外, 要想让孩子一有问题就马上主动和父母商量, 平时就要有意识地建立好家庭成员之间的信赖关系。

じて行われるものも含む。) であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。

「いじめられた」と感じた者が、「心身の苦痛を感じている」場合、「そんなつもりはなかった」、「遊びの延長」、「ほんの冗談のつもり」であっても「いじめ」になるのです。

LINE 上でのやりとりの特徴的な点は、閉ざされた空間であるということです。グループを形成している仲間の間でしか閲覧することができず、第三者の目が届きません。また、グループからはずされたり、無視されたりする可能性を恐れて率直な意見が言えない、「未読」「既読」がはっきりわかるという仕組みから、メッセージを見たらすぐにコメントをしなくてはいけないのではないかと強迫感を持つ、などといった傾向もあります。グループ内の雰囲気が悪くなっているとか、誰かが標的になっていると感じてもなかなか言い出せず「ムードに流され」てしまったり、あまり時間をかけて考えず「即座に発信」したりするということが起きてくるといいます。グループ A のメンバーも大半は「ムードに流され」て、からかい行為に同調したり、受けを狙った発言をしたりしたのでした。

LINE をはじめ、昨今の SNS については、親もよく把握できていないというのに、子どもたちはどんどんと前へ先へと進んでいくようで、心配の種が増えたように感じるのではないのでしょうか。しかし、自身で利用しないまでも、SNS の仕組みや陥りやすい問題を知り、普段から子どもと「他人を思いやる気持ち」や「個々人の感受性の違い」、「情報の拡散の恐れ」などについて話し合っておきましょう。また、何かあったらすぐに相談してもらえるような家族関係を築いておきたいものですね。(Y)

